授業コード: 12131 13133 14151 21131 23121 42151 43111 51141 54151 講義科目名称: 茶道文化 I (社会人基礎入門A)

英文科目名称:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	1年	1 単位	必修		
担当教員					
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美					

安部 直樹・嶋内	麻佐子・	萩原 宏美
講義概要	②礼法(座 ③茶室に必 ④風炉薄茶	聖な場所であることを理解する。茶の心を学び、先生を敬い、相手を思いやり、自らを慎む。 礼、立礼)を覚える。和室での心得を学ぶ。(毎回反復練習をする。) 要な道具名を覚える。点前道具の名称を覚える。道具を大切に扱う。 点前を一人で出来るようになる。 を学ぶ。鎮信流について学ぶ。
授業計画	1	日本の礼法① ・本学における茶道文化について ・玄関での心得について、茶室の入り方を学び体験する(手荷物、靴の脱ぎ方、床の拝見について)
		・教科書、学習帳、服妙ばさみ(名前を書く) ・服紗ばさみの中の説明を受ける(扇子、服紗、出し服紗、菓子切り、懐紙、服紗ばさみ) ・本学における茶道文化:茶道文化の意義(教科書P7~P12)、準備当番、茶室での約束事 ・禅語「看却下」 ・ワンポイントレッスン「身だしなみ」「立礼・座礼」「正しい靴の脱ぎ方」
	2	「和室で踏んではいけないもの」 ・座礼、立礼について学び体験する(双手礼、爪甲礼)(会釈、敬礼、最敬礼) 日本の礼法② ・立礼、座礼について(お辞儀の仕方) ・禅語「和敬清寂」
		・和・敬・清・寂について(教科書P1〜P6) ・利休七則について(教科書P24〜P25) ・服紗の畳み方、扱い方を学ぶ(教科書P53〜P55) ・風炉薄茶点前(見本・説明) ・班に分かれて挨拶、礼法、歩き方(半畳3歩)、靴の脱ぎ方、席入り、退席の仕方
	3	学習課題 復習:ドリル (1週目の復習:和室で踏んではいけないもの、礼法、服紗ばさみの中) 予習:服紗の畳み方、扱い方を学ぶ (教科書P53~P55) ドリル (一般常識:誤字訂正) 日本の礼法③ ・平戸について学ぶ
		・禅語「大道無門」 ・ワンポイントレッスン「敬語について」(尊敬語、謙譲語、丁寧語) ・平戸について学ぶ(教科書P29~P33)DVD:平戸の映像 ・鎮信流についてまとめる ・服紗の付け方、捌き方の復習をする ・和室での立ち振る舞い、歩き方、礼法の復習をする
	4	学習課題 復習:ドリル (2週目の復習:利休七則、4規、席入り、退席の仕方) 予習:平戸について学ぶ(教科書P29~P33) ドリル (一般常識:慣用句) 風炉薄茶点前① ・道具の説明 ・禅語「洗心」 ・ワンポイントレッスン「雑巾の絞り方、拭き方、掃除機の掛け方」
		 ・茶道具の説明(教科書P37~P50) ・茶道具の準備と後片付けについて学ぶ ・服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を体験する(教科書P53~P57)
	5	学習課題 復習:ドリル (3週目の復習:敬語、平戸、鎮信流について) 予習:茶道具の説明 (教科書P37~P50) ドリル (一般常識:適切なことば) 風炉薄茶点前② ・お菓子の取り方、食べ方を学び体験する
		・禅語「喫茶去」・ワンポイントレッスン「箸の使い方について」(箸の持ち方、柄杓の持ち方、使い方を知る)・お菓子の取り方、食べ方を学び体験する・茶筅の扱い方、お茶の点て方、飲み方、片づけ方を体験する
	6	学習課題 復習:ドリル(4週目の復習:茶道具、準備と片付けについて) 予習:ドリル(一般常識:適切なことば2) 風炉薄茶点前③ ・茶巾の絞り方、茶巾のさばき方、仕込み茶碗の仕方を体験する ・禅語「清風匝地」 ・ワンポイントレッスン「上着の扱い」「訪問のマナー」
		(研究室への入り方、茶会での返答の仕方) ・茶巾の絞り方、茶中のさばき方、仕込み茶碗の仕方を学ぶ(教科書P59, P60) ・茶巾の絞り方、茶巾のさばき方、仕込み茶碗の仕方を体験する ・服紗さばき・棗の清め方・茶杓の清め方の復習をする
	7	学習課題 復習:ドリル (5週目の復習:箸の使い方、柄杓の扱い方について) 予習:茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗の仕方を学ぶ(教科書P59, P60) ドリル (一般常識:四字熟語) 風炉薄茶点前④ ・水指の置き合わせから洒を持って入るまで
		・禅語「歩々是道場」

・ワンポイントレッスン「衣替えについて」・水指の置き合わせから釜の蓋を清めるまで(教科書P70~P72) ・茶道具の持ち方(水指、茶碗、棗、洒) ・道具の置き合わせ、清め方、柄杓の扱い方 学習課題 復習:ドリル (6週目の復習:茶道具について) ・水指の置き合わせから釜の蓋を清めるまで(教科書P70~P72) ・茶道具の持ち方(水指、茶碗、棗、洒) ・道具の置き合わせ、清め方、柄杓の扱い方 学習課題 復習:ドリル (6週目の復習:茶道具について) 予習:水指の置き合わせから釜の蓋を清めるまで(教科書P70~P72) ドリル (一般常識:対義語) ・茶筅通し・茶碗の拭き方まで 8 風炉薄茶点前⑤ • 禅語「日々是好日」 ・ワンポイントレッスン「茶の種類」(緑茶、ウーロン茶、紅茶) ・茶筅通し、茶碗の拭き方まで(P73~P74) ・茶筅通し、茶碗の扱い方、お湯の捨て方 ・茶巾の扱い方、茶碗の拭き方まで 学習課題 復習:ドリル (7週目の復習:茶道具の置き合わせ) 予習:茶筅通し・茶碗の拭き方まで (P73~P74) ドリル (一般常識:誤字訂正2) 風炉薄茶点前⑥・抹茶の入れ方 ・水指の蓋の扱い方・湯の入れ方 ・茶の点て方 • 禅語「思無邪」 ・ワンポイントレッスン「茶の飲み方」 (団茶法、抹茶法、煎茶法) ・抹茶の入れ方、水指の蓋の扱い方、湯の入れ方、茶の点て方 (P74, P75) ・お茶を点てるまでを体験する 学習課題 復習:ドリル (8週目の復習:茶筅通しまでの流れ) 予習:抹茶の入れ方、水指の蓋の扱い方、湯の入れ方、茶の点て方 (P74, P75) ドリル (一般常識:対義語2) 10 風炉薄茶点前⑦・客点前 ・茶碗の取り込み方 禅語「且座喫茶」 ・ワンポイントレッスン「侘び茶」(村田珠光、武野紹鴎・千利休) • 客点前 ・茶碗の取り込み方 (P76) • 薄茶点前前半復習 学習課題 復習:ドリル (9 週目の復習:薄茶点前前半までの流れ) 予習:客点前・茶碗の取り込み方 (P76) ドリル (一般常識:特別な読み方) 風炉薄茶点前⑧・薄茶点前後半の見本 11 ・禅語「処々全真」 ・ワンポイントレッスン「武家茶」(古田織部・小堀遠州・片桐石州) ・風炉薄茶点前後半の見本・説明 • 風炉薄茶点前後半 学習課題 復習:ドリル (10週目の復習:客点前・茶碗の取り込み方) 予習:風炉薄茶点前後半 ドリル (一般常識:特別な読み方2) 12 風炉薄茶点前⑨・薄茶前半(内検) 禅語「明珠在掌」 ・ワンポイントレッスン「試験を受ける心構え」(姿勢・位置・落ち着き) ・服装・身だしなみチェックシート記入(ドリルなし) · 薄茶点前前半 (内検) 風炉薄茶点前⑩·薄茶点前前半総復習 13 ・禅語「?啄同時」 実技試験のチェックポイント ・薄茶点前前半練習 学習課題 復習:ドリル (1回目から12回目までの禅語の復習) 薄茶点前前半確認 (実技試験) 14 · 薄茶点前前半確認 (実技試験) ・実技試験を受けたら、客点前をする。・終わった順に速やかに退席する。 煎茶の入れ方を体験する 15 ・禅語「一期一会」・ワンポイントレッスン「煎茶の入れ方」・煎茶の入れ方を学び体験する ・自己評価 ・アンケート記入 • 学習帳回収 学習課題 復習:ドリル (今までの復習) 予習:ドリル (学習帳のまとめ) 授業形態 講義と演習 ①茶道文化で身に付けたマナーや礼法を、茶室以外の生活の中でも実践するようになる。 ②日本の礼儀作法を学び相手を思いやる行動ができるようになる。 ③日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持つようになる。(自国文化の再確認) 到達目標

	④箸の使い方や掃除の仕方を知り、実践できるようになる。 ⑤茶の歴史を知り、自分に置き換えて行動できるようになる。(異文化交流に役立てる)
評価方法	①授業への参加意欲や授業態度 ②授業ごとの理解度を学習帳で確認する。 ③毎回のドリルや最終回の感想文 ④薄茶点前の実技の評価の観点は、正確な薄茶点前が出来るか。道具を大切に丁寧に扱うことが出来るか。 客点前はできているか。など総合的に評価する。
評価基準	関心・意欲・態度(茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。)授業態度:15% 思考・判断(教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているか。)学習帳の利用:10% 知識・理解(お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常の生活に役立てているか。)行動や感想:15% 技能・表現(薄茶点前を正確にできるようになったか。)実技試験:60%
教科書・参考書	テキスト:嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	長崎短期大学に入学した本科生
履修上の注意	茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。(茶室は神聖な場所である) 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。(TPOを考える) 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。(自主学習) 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨むこと。(時間厳守)
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。 ⑥日本の礼法を学びましょう。 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。